

2023年度

『一般選抜』入学試験問題

国語

注意事項

- (1) 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
 - (2) 困ったことがある場合は静かに手を挙げて監督者^{かんとくしゃ}に知らせなさい。
 - (3) 解答時間は 60 分です。
 - (4) 試験開始 5 分後に放送問題が始まります。あらかじめ、目を通して
おいて下さい。
 - (5) 字数指定のあるものは、特に指示がない限り句読点や記号も一字と
して数えなさい。
 - (6) 本文中で、*のついている語には、本文の後に説明があります。
 - (7) 問題用紙は持ち帰りなさい。
- ※ なお本文には、設問等の都合により編集した部分があります。

加藤学園暁秀中学校

一 【放送問題】 試験開始五分後に放送が入ります。質問は問1から問3まであります。それぞれの問題は放送で読み上げます。

(メモ欄)

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(「1」～「10」は段落番号)

〔1〕洗濯は、水路の水をくんで家の裏の洗い場へ運び、そこで洗った。食器も同じように裏で洗い、汚れた水はためておいて肥料として畑にまいたから、洗濯物や食器を洗った水が水路を汚す心配はまったくなかった。

〔2〕町の人々すべてが、水に気を遣い手間を惜しまずに自分たちの水を大切にしていた町では、水路の水が流れつく先の琵琶湖の水も澄んでいた。《 住民が増えて生活排水が川に流れるようになると、(1)琵琶湖に赤潮が発生するようになってしまった。》

〔3〕江戸時代どころかほんの四十年前までは、気遣いと手間だけ、つまり太陽エネルギーだけで貴重な水を守っていた。そのため特別な装置もエネルギーも使わずに、澄みきった水が水路に流れ、琵琶湖に注いでいたのだ。

〔4〕《 人々が化石燃料エネルギーという理想の召使を手に入れると、なぜか水が汚れ始めた。理屈の上では、より高度の文明状態に達したのだから、水はもっときれいになって当然なのに、(2)そうはならなかった。その理由は簡単で、(3)電力やモーターや石油エンジンを使えば、桁違いの、感覚的には無限大といつていいほど大きな力を出すことができるのである。》

〔5〕大きな力が使えば、大量の資源を処理して大量の物資を製造することができる。(4)需要があるからで、できたものは工場を出て消費者の間に出廻り、いずれは固体、液体、気体などさまざまな形の廃棄物となることは、ここ四十年ほどの間にいやというほど見てきた通りだ。

〔6〕ついこの間までは、こまごまと気を遣って手間をかけながら暮らしていた人も、スイッチを押すだけで面倒な仕事を片づけてくれる機械が自分にも買える値段になれば、喜んでそちらへ切り換えて、「ああ、便利な世になったものだ」と感心する。私自身、その一人だったからよくわかるが、同じ状況になればもう一度同じことをしそうだ。(5)今の生活は、なるべくしてこうなったので、今なら引き返すことはできないのである。

〔7〕人の手間で生きていた当時は、特別なことをしなくても、あるいは、しなかったからこそ何百年にもわたってほぼ安定した

環境を保っていた。《 いったん環境の汚染が始まると、回復するのに膨大な時間と経費とエネルギーが必要だ。》

〔8〕汚すのにもエネルギーを使っている、というより、膨大なエネルギーを使うから汚染が始まるのであり、それを取り除くのにもまたエネルギーを使うのだから、これほど(6)ばかげたことはない。現代文明にどっぷり漬かった生活をして、その恩恵を充分に受けて暮らしながらこんなことをいうのはまことに申しわけないが、どうやら現代文明は構造的に破滅型なのではあるまいか。

〔9〕洗濯のようなむだな作業に時間をかけず、自動式の電気洗濯機を使って余った時間をより有効で高尚なビジネスや趣味、芸術のために使えば、人類がさらに発展する、という理論はわかりやすく、そういう発想のもとに文明が大発展した。

〔10〕だが、人間は、物質的に豊かでひまになるほど精神的にも向上するほど立派な動物でないことが次第に分かってきた。

***文明の発展に並行して、それまでは考えもしなかったややこしい社会問題が次々と起こり始めた**からだ。豊かなエネルギーは、水や空気だけでなく人間も汚染するのだ。

石川英輔『大江戸えころじー事情』より

*1 琵琶湖…滋賀県にある日本最大の湖。

*2 赤潮…水質汚染によって微生物が異常に増えて、水が赤茶色になる現象。

*3 高尚…程度が高くて立派なこと。

問1 文章中の三つの《 》には同じ言葉が入ります。次のア～オの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア そして イ ところが ウ さらに エ つまり オ なぜなら

問2 〔1〕の段落より、水路の水が汚れなかった理由を文章中より二十三字で抜き出さなさい。

問3 — 部(1)「琵琶湖に赤潮が発生するようになってしまった」理由を文章中の言葉を使って答えなさい。

問4 — 部(2)「そうはならなかった」について

- ①「そうはならなかった」とはどういうことですか。「そう」の内容を補い「」ならなかったということ」という形につながるように文章中の言葉を使って十字程度で答えなさい。
- ②「そうはならなかった」理由を「5」の段落の言葉を使って三十五字以上四十字以内で答えなさい。

問5 — 部(3)「電力やモーターや石油エンジンを使えば、桁^{けた}違いの、感覚的には無限大といっているほど大きな力を出すことができる」について、ここで言う「大きな力」から生^{なま}み出^だされないものは何ですか。次のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 琵琶湖の赤潮 イ 太陽エネルギー ウ さまざまな形の廃棄物 エ 化石燃料 オ 便利な世の中

問6 — 部(4)「需要」とは、ここでは「ある商品を買おうとすること」という意味です。次のア～オの中から「需要」と反対の意味を持つ「ある商品売ろうとすること」という意味の熟語を一つ探し、記号で答えなさい。

ア 購買 イ 買収 ウ 売買 エ 供給 オ 授与

問7 — 部(5)「今の生活は、なるべくしてこうなったので、今さら引き返すことはできない」について、「今さら引き返せない今の生活」とはどのようなものですか。次のア～オの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 水路の水を生活用水にする生活
イ 太陽エネルギーだけで貴重な水を守る生活
ウ ビジネスや趣味、芸術に時間をかけない生活
エ 面倒なことがない便利な生活
オ 豊かなエネルギーを使わない生活

問8 次の文は「1」～「10」のいずれかの段落の最後に入ります。段落の番号で答えなさい。

*しかも、もとの状態に^{もと}戻すことはまずできない。

問9 — 部(6)「ばかげたこと」について、何が「ばかげたこと」なのですか。文章中の言葉を使い、二十五字以上三十字以内で答えなさい。

問10 文章全体のまとまりを

「1」と「2」
「3」～「6」
「7」～「10」

の三つに分けて考える場合、この文章の話の進め方として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「1」・「2」で述べたことと反対の内容を「3」～「6」で述べ、「7」～「10」で説明している。
イ 「1」・「2」で結論を述べ、「3」～「6」で具体例をあげて、「7」～「10」で結論を出している。
ウ 「1」・「2」で述べた内容を「3」～「6」くわしく説明し、「7」～「10」でくり返して主張を強めている。
エ 「1」・「2」で述べたことを「3」～「6」でくり返し、「7」～「10」で否定して分かりやすくしている。

問11 この文章で筆者が言いたいことは何ですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 現代文明が発展することによって人類はさらに発展した生活ができる。

イ 人類は気遣いと手間をかけた生活を取り戻してエネルギーを守る生活をするべきだ。

ウ 大量の資源を消費することによって手に入れた便利で快適な生活を守るべし。

エ 豊かなエネルギーを使って文明が発達したが、環境や社会、人間も汚染されてしまった。

問12

＊文明の発展に並行して、それまでは考えもしなかったややこしい社会問題が次々と起こり始めた。について、

① 文明の発展によって、現在、日本を含む世界で起こっている「ややこしい社会問題」を一つあげなさい。

② ①で取り上げた社会問題について、あなたはどのような取り組みが必要だと考えますか。次の条件に従って書きなさい。

＊九十字以上一〇〇字以内で述べること

＊最初の一マスから書き出すこと（段落分けはしない）

＊正しい原稿用紙の使い方を書くこと

＊漢字を正しく用いて書くこと

＊文末を「〜だ。」「〜である。」とすること

三 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

五年生の倫太郎と担任のヤマゴリラとの関係は、よい方向におかしく兆しが見られない。相性が悪い、という言い方があるが、二人はたいいていのが、ちくはくになるのである。

学校の運動場沿いに道があり、その道に並行してU字溝が通っていた。子供の背丈ほどの深さがある。水はほとんど流れていない。草が覆うようにかぶさっていた。昼休み、そこに子どもたちが群がっていた。

「なんや」

「なんやろ」

それを見た倫太郎たちが、見逃すはずはない。倫太郎たちは駈けた。

「なんや」

「おばあさんが袋、落としはってん」

四年生くらいの女の子が言った。

「巾着、落としてん。お金や老眼鏡が入ってますさかい……」

ばあさんは困っている。

(1)「見とらんと拾うたれ、あほか」

倫太郎は溝に向かって身を躍らせようとした。

「あきまへん、あきまへん。ばく、そんなことをしたらあきまへん」

ばあさんはあわてて倫太郎の服の裾を引っ張った。

「なんでエ？」

「へびがいます。あれはマムシです。二匹もいますやろ。毒へびやから咬まれたら大変や」

そういわれて、倫太郎は、溝の中をのぞきこんだ。よく観察した。

「なんや」と倫太郎は言った。ばあさんの方を向いて、「(2)あれ、マムシとちがう。ヤマカガシや」と教えた。
「マムシと違ちがいまっか。わたしはマムシやと思いまっせ」

「あんな、おばあちゃん。マムシは首が、もっと三角形や。あのヘビはおなかの横に、模様みたいななんかついてるやろ。マムシはあんなあれへんねん」

「そうでっか。ほんまに毒、あらしまへんか」

「牙きばに毒はあれへん。でも首のつけ根くらいに毒の出る腺せんがあって、巻きつくと、首をくっくとなすりつけ毒をつけるの」
「ほら、み。あんた……」

あきまへん、あきまへん。くわばら、くわばらと、ばあさんはいった。

「けどな、マムシは首をもたげて襲おそってくるけど、ヤマカガシやシマヘビは腹筋が弱いから、しっぽ持って、ぶら下げるとドラッとしよるんや」

ばあさんは《 1 》した。

「あんた、えらい物識しりやなあ。どこで、そんな知恵ちえをもろてきたの」

「ウエハラさんいうて、変なオッサンがおるねんけど……」

子どもらが笑った。自分のオヤジのことなのに、タケヤンまでにたあとした。

「……学校で教えてくれへんことは、たいていそこからや」

タケヤンがいった。

「倫ちゃん、あれ、オスとメスや」

「うん。そやな」

*2
「つがいでおったら絶対、襲おそわへん」

「うん」

倫太郎は無造作に、U字溝に下りて、ヘビの横に落ちている巾着を、なんの《 2 》もなく拾った。

同じクラスのミキオが、体を伸ばし手を差し出したので、倫太郎は、そのばあさんの持ち物を彼に手渡した。
ばあさんは「ありがとう」と、とりあえずミキオに礼をいった。

そこへヤマゴリラが、女教師といっしょにやってきたのだ。子どもが群がっていたので、それをヤマゴリラに告げた女教師と一緒になんだろうとようすを見にきたようだ。

「どうしたんだ」ヤマゴリラは子どもらにたずねた。「A」

ばあさんが先に、「おたくの子どもさんに、落とし物を拾うてもらいました」といった。

「おまえらも、たまにはええことをするのやな」ヤマゴリラは、そういった。

(3) タケヤンが小さな声で、あほか、と吐はき捨てた。一方、倫太郎はヘビを処置しよちするつもりで、二匹のヘビのしっぽをつかんで両手でぶら下げたばかりのところだった。遠くへ投げ捨てるつもりだったのだ。それをヤマゴリラが見た。

「どうせ、こんなことやろと思つた」

ヤマゴリラは舌なめずりするようにいったのである。「B」

「ミキオを見習え」

U字溝の倫太郎を見下ろして、ヤマゴリラは怒鳴どなった。「C」

「ミキオが人助けしているのに、それに比べおまえはヘビをとって、また、人を驚おどろかそうとしとるのやな」

頭にきた倫太郎は、右手のヘビと左手のヘビを、ヤマゴリラ目掛けて投げた。ヤマゴリラはかううじてそれを避さけたが、無防備だった女教師の左頬ほおから首筋すじにかけて、投げたヘビがひっかかるように当たった。

「きやあ」と絶叫ぜつごうし、次に「ひイ！」と叫さけんで、卒倒*3 そつどうした。

ヤマゴリラは激怒した。溝からあがろうとしている倫太郎のえり首を服ごつかみ、力まかせにひきずりあげると、左手で倫太郎の頬を打った。乾かわいた音がした。
「なにするんじや」

タケヤンらが倫太郎を庇かばおうとした。その手を払いのけ、倫太郎はヤマゴリラに突進とっしんした。

(4) 意外な展開に、ばあさんは驚いた。

「(5) 違います、違います。あんださん、それは違います」

ばあさんは気丈夫*4だった。ふたりの間に割って入り、

「止めなさい。わたしの説明をききなさい」

と大きな声を張りあげた。

倫太郎は荒い息をして、ヤマゴリラを睨みつけた。「D」

「許さん、とことんやったる」ヤマゴリラは教師にあるまじきセリフを吐き、(6) じつさい顔も青ざめている。

「この子が、ヘビのそばに落ちていた巾着を拾うてくれたんです。な、みんな、そやね……」

「そや」

「そやで」

子どもたちは青い顔で、口々にいった。「E」

「なんとかありませんか」と頼んでも『ヘビおるもん』とたいていの子はいうたのに、この子だけがとりについてくれたんです。

この子が拾うてくれたんやから、そんなに怒らんとって」

「……」

ばあさんは、おしまいにきついことをいった。

「こんな子オを叩いたら、先生の値打ちはいっぺんに下がります」

灰谷健次郎『天の瞳 少年編I』より

*1 U字溝…排水溝。断面がU字型であることから名づけられている。

*2 つがい…動物の雄と雌の一組み、夫婦。

*3 卒倒…突然意識を失って倒れること。

*4 気丈夫…気が強くしっかりしていること

問1 —— 部(1) 『見とらんと拾うたれ、あほか』倫太郎は溝に向かって身を躍らせようとした。」について、この行動から読み

取れる倫太郎の考えとして最も適当なものは次のア、イ、ウのうちどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。

ア 何でもタイミングが大切や。目の前のチャンスをはたらいたらあかん。

イ 困ってはる人を見たら助けるのが当然や。あれこれ考えないですぐに実行せん。

ウ まず、段取りをしっかりと考えて、それから行動に移したらいいんや。

エ とにかく行動を起こさんとあかん。他のことは知らん。

問2 —— 部(2) 「あれ、ママシとちがう。ヤマカガシや」について、倫太郎はヘビのどんなところを観察してヤマカガシだと判断

しましたか。文章中の言葉を使って説明をしなさい。

問3 —— 1 —— に入る言葉として最も適当なものを次のア、イ、ウの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 動揺 イ 感心 ウ 放心 エ 遠慮

問4 —— 2 —— に入る言葉として最も適当なものを次のア、イ、ウの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ためらい イ 考え ウ 予感 エ 疑問

問5 ―― 部(3)「タケやんが小さな声で、あほか、と吐き捨てた。」について、ここから分かることとして最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア タケやんは先生の皮肉に対して倫太郎の味方をしようとして言葉を発した。

イ タケやんは先生に反抗して子どもたちを代表して反論を試みた。

ウ タケやんは先生に失礼な態度を取ることがいけないと思って遠慮しながら話した。

エ タケやんは先生にミキオの手柄でないことを教えたくて我慢できずに言った。

問6 ―― 部(4)「意外な展開」とは、どのような展開ですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 倫太郎がへびを投げつける展開

イ 女教師が驚いて卒倒する展開

ウ 子どもたちが倫太郎を庇う展開

エ ヤマゴリラが倫太郎を叩く展開

問7 ―― 部(5)「違います、違います。あなさん、それは違います」について、ばあさんが「違う」と思っていることが分かるせりふを文章中のすべてのせりふの中から探し、最初の五字を抜き出しなさい。
(かぎかっこは一字として数えないこと。)

問8 ―― 部(6)「じっさい顔も青ざめている。」について、この時のヤマゴリラの状態を表す言葉として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 恐怖 イ 逆上 ウ 絶望 エ 困惑

問9 次の文は文章中の「A」「E」のどこに入るのが適当ですか。記号で答えなさい。

ヤマゴリラの表情に狼狽の色が走った。

狼狽……思わぬ出来事にあい、慌てること。

問10 次の倫太郎について説明したア～エの文章のうち、正しくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア へびについて詳しく知っていて、自信を持っている。

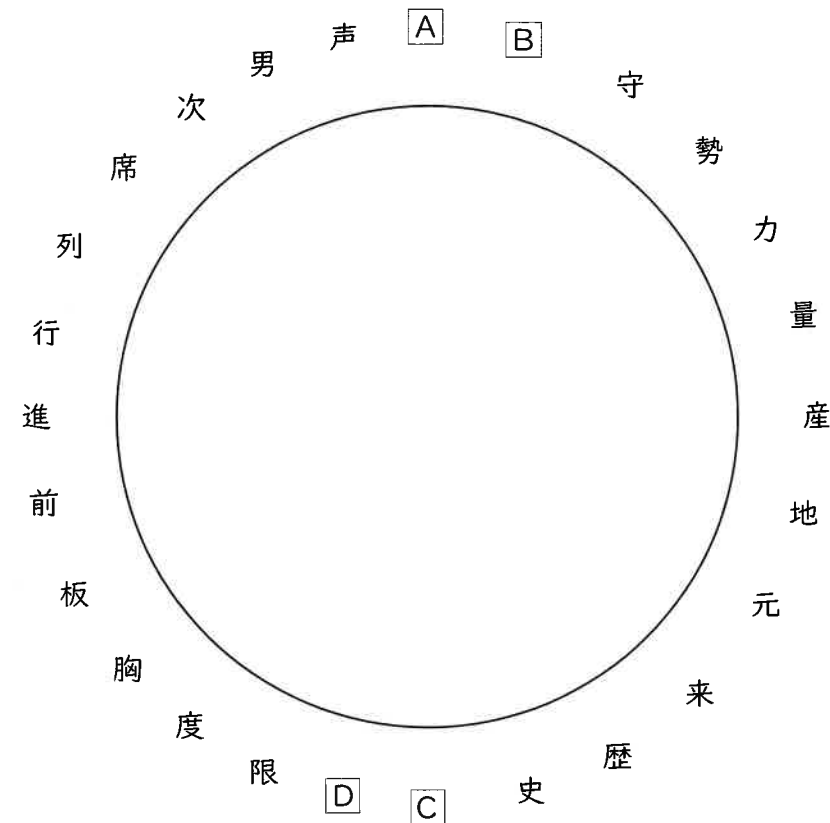
イ 頭の回転が速く、とっさのことに対応できる。

ウ タケやんの父親から学校で教わらないことを学んでいる。

エ 気が強いが他人に対して親切で、行動力がある。

四 漢字、言葉に関する問題

問1 次の漢字のサークルは、(例)のように、二字熟語を連ねたものです。これについて後の問いに答えなさい。
(例) 運・動・作・業・順に「運動」「動作」「作業」が続いています。



- ① [A] [B] [C] [D] に入る漢字を書きなさい。
- ② 二字熟語を作って行くとき、二つの読み方をする漢字を全て抜き出しなさい。
- ③ 熟語の読みが「訓読み+訓読み」になっているものを一つ抜き出しなさい。

問2 次の各組の語句の中で、一つだけ他と性質が異なるものがあります。記号で答えなさい。

- | | | | | |
|------------|---------|--------|----------|---------|
| ① ア すくない | イ おさない | ウ あぶない | エ たべない | オ きたない |
| ② ア いらっしゃる | イ 召し上がる | ウ いただく | エ ごらんになる | オ おっしゃる |
| ③ ア きつと | イ 全く | ウ おそらく | エ もしも | オ とても |

問3 次の各文の空らんには当てはまる漢数字を書きなさい。

- ① 私と弟は夏休みの間、() () 時中けんばかりしている。
- ② みんなに反対されても、彼の主張は終始() 貫している。
- ③ これからは() 転() 起、何があってもくじけないで頑張り() ます。

加藤学園暁秀中学校

得点

得点

得点

得点

得点